

南山城村国土強靱化地域計画の概要

はじめに

◆策定の趣旨

国土強靱化基本法の趣旨等を踏まえ、村民、近隣市町、国、府、事業者等とともに、大規模自然災害等から速やかに復旧・復興ができる強い安全・安心なむらづくりを進めるための指針となる計画を策定する。

◆計画期間 5年間

第1章 基本的な考え方

◆基本目標

- ①人命の保護が最大限に図られること
- ②南山城村内の重要な機能が致命的な障害を受けず、維持されること
- ③村民の財産及び公共施設に係る被害の最小化に資すること
- ④迅速な復旧・復興に資すること

◆計画を推進する上での基本的な方針（15事項）

第2章 南山城村の地域特性等

◆地勢・成り立ち ◆気象 ◆人口

第3章 脆弱性評価

◆想定するリスク

- 地震(南海トラフ地震及び直下型地震)
- 豪雨等による土砂災害・風水害等

及びこれらに起因する二次災害

◆起きてはならない最悪の事態

国土強靱化基本計画における設定を基本としつつ、合計39の「起きてはならない最悪の事態」を設定して脆弱性を評価

第4章 国土強靱化の推進方針

以下の分野ごとに、取り組むべき施策と数値目標を明示

<個別施策分野>

(1) 行政機能/警察・消防等

防災拠点施設等の耐震化・機能維持対策、災害対策本部の運営強化、応援・受援体制の強化、救助・救出活動の能力向上 等

(2) 住宅・都市/環境・エネルギー

住宅の耐震化、火災発生防止対策の推進 等

(3) 保健医療・福祉

災害時の医療・救護体制の整備、感染症のまん延防止 等

(4) 情報通信

村民への通信手段の確保、災害危険情報の収集・伝達体制の確立

(5) 産業構造

地場産業の活力維持、観光業や農業への風評被害対策 等

(6) 農林

農地・農業用施設の防災対策、森林の整備・保全 等

(7) 交通・物流

道路等の整備・耐震化、緊急輸送道路等の確保 等

(8) 国土保全/国土利用

総合的な治水対策、河川施設の整備推進、避難所整備 等

(9) 首都機能バックアップ等

リニア中央新幹線の整備

(10) 伝統・文化の保全

文化財の保護・保全、防火対策

<横断的分野>

(1) リスクコミュニケーション

自主防災組織の活動促進、ボランティア団体等との連携強化 等

(2) 老朽化対策

安全・安心に係る社会資本の適正な維持・更新

第5章 計画の推進

◆計画の進捗管理

◆施策の重点化